

日産財団2019年度新体制

日産財団は6月25日の定期評議員会において、新たな役員と評議員が選出され、翌26日には新メンバーによる理事会において、久村春芳新理事長が選任されました。

昨年11月に発生した日産自動車元会長事件を契機に、財団の経営は大きな変革に迫られています。久村理事長のもと、10名の継続メンバーの引き続きのご尽力に、5名の新メンバーの新しい力をいただいて、様々な難局を乗り越えてまいりたいと思います。

今回変更

新体制		
理事長	久村 春芳	日産自動車(株)フェロー
副理事長		
常務理事	原田 宏昭	公益財団法人日産財団 常務理事
理事	加納 圭	滋賀大学 准教授
	川越 至桜	東京大学生産技術研究所准教授
	西本 清一	京都市産業技術研究所 理事長
	美馬 のゆり	公立ほこだて未来大学 教授
	山崎 蘭加	華道家
監事	太田 建司	公認会計士
	佐藤 晃一	日産自動車(株) 法務室弁護士
評議員	井上 光昭	井上公認会計士事務所 代表
	加藤 毅	筑波大学 准教授
	黒田 玲子	中部大学 総合工学研究所特任教授
	塚本 恵	キャタピラー 代表執行役員 渉外・広報室長
	土井 三浩	日産自動車(株) 総合研究所 アライアンスグローバルダイレクター
	羽鳥 賢一	一般社団法人大学技術移転協議会 事務局長
	濱口 貞行	日産自動車(株) チーフコミュニケーションオフィサー

新理事長あいさつ

私が理科に興味を持ったのは、小学4年の頃でした。担任の先生は美術がご専門で、生徒にいろいろな機会を与えることを方針とされていました。

先生の勧めで、絵画教室に参加したり新聞委員を担当したりしたのですが長続きせず、ただ一つ化学実験で先生の代理を任されたことは非常に強く心に残りました。

それをきっかけに理科に興味をもち、大学で工学を学び、企業で研究開発の仕事を選択し、現在に至っています。当時、様々な経験を通して自分の進む道を考えさせてくれた先生に、今でも深く感謝しています。

日産財団は、豊かな未来社会を切り開く人、生き生きと活躍する人を育てるために、様々な経験と学びの場を通して子供たちの能力開発に取り組んでまいります。



久村理事長近影

2019年度の主な取り組み

1. 理科教育助成、理科教育賞

- 日産の事業所在地である4県（福島、栃木、神奈川、福岡）の小中学校35校に助成します。さらに、助成期間に優秀な教育研究を行った学校を褒賞します。
- 本助成事業15年の成果を分析して、教育指導のための書籍を作成しています。

2. リカジョ賞

- 理科好き女子小中学生を育てる実践事例を、全国から募集し褒賞します。

3. 未来のリーダー人材育成講座（新事業）

- 未来社会を切り拓くリーダーを育てるための、中学生向けの新しい「芽出し教育」講座を立ち上げます。

Mini Topic

今年も「リカジョ賞」の公募を開始しました。



女子中高生・女子学生の理工系分野への選択

この取り組みは、今年から内閣府男女共同参画局の協賛をいただいています。